



nms ホールディングス株式会社
2019年3月期
第2四半期累計決算概要

2018年11月16日

nms ホールディングス株式会社

2019年3月期 第2四半期累計決算概要

(JASDAQ 2162)

- これまで需要の端境期にあったパワーサプライ事業（PS事業）が、主軸の電源関連製品において新規受注及びその量産立ち上げにより、売上・利益ともに回復第2四半期に入り、EMS事業における工作機械関連や海外白物家電関連の需要減があったものの、売上高は全体として概ね堅調に推移
- 営業利益は、ヒューマンソリューション事業（HS事業）における、外国人技能実習生関連受託や、物流3PL受託・テクニカル流通加工事業会社設立による先行投資コスト発生に加え、第2四半期にPS事業において部材調達難に伴う生産計画後ろ倒し等があり、全体として前年同期比で減益となった
- 四半期純利益は、前年同期は投資有価証券売却益等の特別利益221百万円の計上があったが、当第2四半期累計期間においては、営業利益の減に加え、第2四半期に予定していた、固定資産売却益の計上が下半期にずれ込んだこともあり、減益となったこの資産売却益は、第3四半期に計上の予定

【2019年3月期 第2四半期累計実績】

売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益
27,719 百万円	239 百万円	220 百万円	62 百万円

1. 2019年3月期 第2四半期業績ハイライト

(単位：百万円)	2018年3月期 第2四半期累計 実績	2019年3月期 第2四半期累計		
		累計実績	前年同期比	主なポイント
売上高	26,939	27,719	2.9%	【経常利益】 営業外収益 266百万円 (前年同期比 47百万円増) 営業外費用 285百万円 (前年同期比 74百万円増) 【特別利益】 39百万円 (前年同期比 182百万円減) 【特別損失】 48百万円 (前年同期比 5百万円増)
営業利益	596	239	△59.8%	
経常利益	603	220	△63.5%	
親会社株主に帰属する 四半期純利益	570	62	△89.0%	

2. セグメント別業績ハイライト

(単位：百万円)		2018年3月期 第2四半期累計 実績	2019年3月期 第2四半期累計		
			実績	前年同期比 売上高：％ 利益：金額	主なポイント
HS事業	売上高	8,268	9,155	+10.7%	国内需要は堅調に推移、ロジスティクス関連新会社や外国人技能実習生向け研修事業会社等の先行投資コストが利益圧迫要因となったが、需要は堅調
	セグメント利益	264	147	△116	
EMS事業	売上高	13,331	12,942	△2.9%	工作機械関連や海外白物家電における需要減速感あり、ベトナム生産拠点の設立等によるコスト計上で減益となったが、来期以降に向けた投資を継続
	セグメント利益	408	157	△251	
PS事業	売上高	5,339	5,621	+5.3%	既存製品の需要調整や、新規分野への製品投入までの端境期を脱し、新規受注の量産化が順次スタートし増収増益、電池パックの出荷・納入も開始
	セグメント利益	125	182	+57	
調整額	セグメント利益	△200	△247	△47	当社（持株会社）に係る全社費用 *持株会社化に伴い、当費用は各セグメントに配分せず「調整額」に区分
合計	売上高	26,939	27,719	+2.9%	
	セグメント利益	596	239	△357	

* HS事業：ヒューマンソリューション事業 EMS事業：エレクトロニクスマニュファクチャリングサービス事業 PS事業：パワーサプライ事業

売上高

9,155百万円

前年同期比 +10.7%

セグメント利益

147百万円

前年同期比 116百万円減
(△44.1%)

【事業母体】

日本マニファクチャリング
サービスグループ



国内

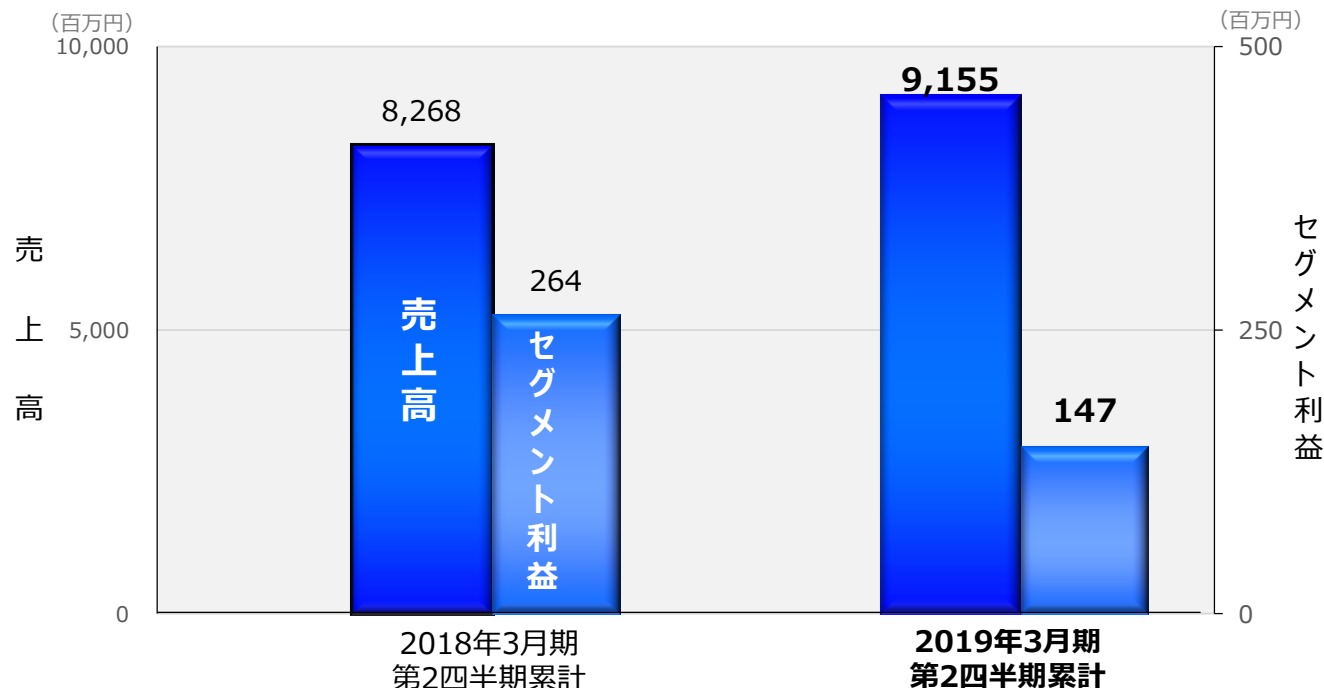
製造派遣・製造請負事業において、正社員化や福利厚生の充実等により、採用力強化・定着率向上、外国人技能実習生を含む外国人材の活用の枠組みを構築、今後の市場拡大対応策を実行



海外

中国での市場環境変化、人件費高騰等が継続したが、海外現地における製造請負を展開、ベトナム・タイにおいては、グループ内EMS事業ノウハウを組み合わせ、省力化導入提案など新たなサービスも推進し収益性向上を図る

今後の市場拡大に向けた、外国人技能実習生向け受託事業や、物流3PL受託・テクニカル流通加工事業会社設立による、先行投資コストが利益圧迫要因となったが、早期の成果刈り取りへの取り組みを進め、収益性向上への取り組みを図る



売上高

12,942百万円

前年同期比 Δ 2.9%

セグメント利益

157百万円

前年同期比 251百万円減
(Δ 61.5%)

【事業母体】

- ・志摩電子工業グループ
- ・TKRグループ



国内

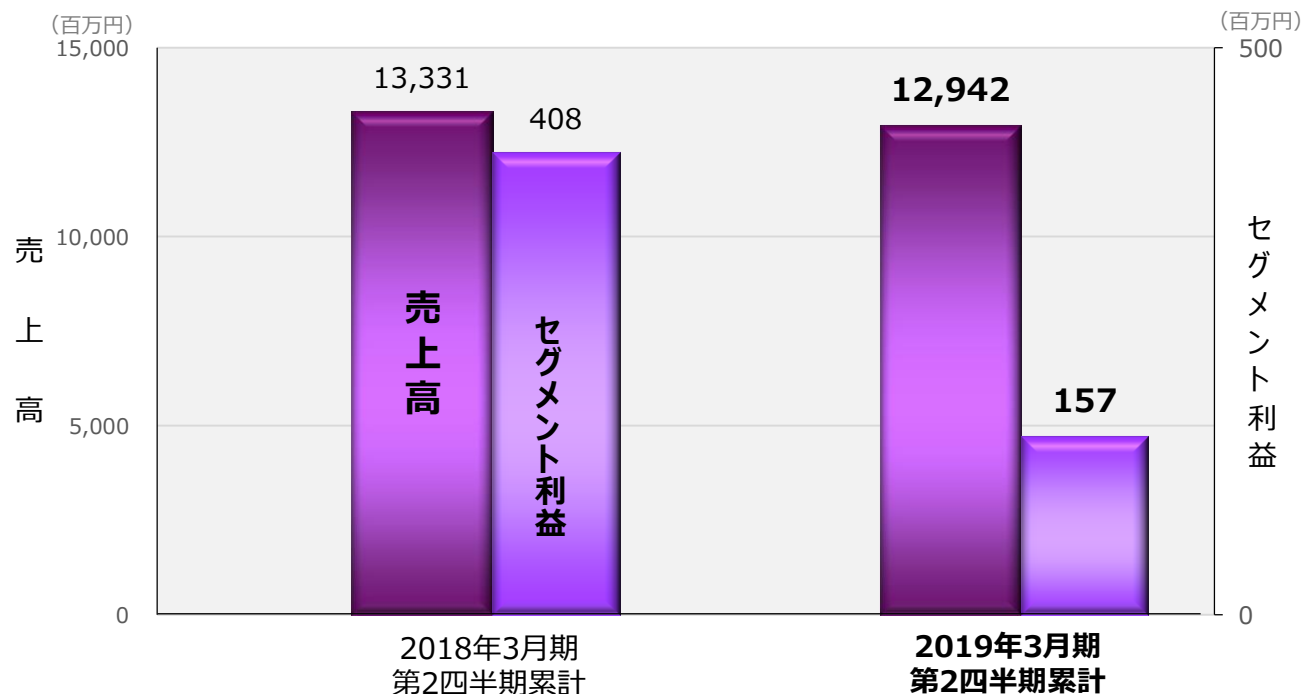
第2四半期に入り、工作機械関連の需要が減速したが、既存製品を中心に概ね堅調に推移



海外

マレーシアにおいては白物家電関連の需要減速があったものの、中国における需要は堅調に推移

TKRにおける新市場進出となる、ベトナム工場は順調に建設が進行中、2019年4月立ち上げを予定しており、新市場での需要拡大を図る



全体

- ・既存製品の需要調整や、新規分野への製品投入までの端境期を脱し、新規受注の量産化が順次スタート、サンプル品出荷増もあり増収増益
- ・これまで培ってきた電源技術を活かし「電池マネジメントシステム事業」を始動、リチウムイオン二次電池パックの受注引き合いが好調に推移
- ・その開発・製造拠点として2018年1月11日に「松阪工場」（三重県）を開設、2018年9月に生産を立ち上げ、10月より納入開始

電池パックの応用分野が広がっており、「基盤強化」と「新製品開発・製造・拡販」の両輪で売上・利益の拡大をめざす

売上高

5,621百万円

前年同期比 +5.3%

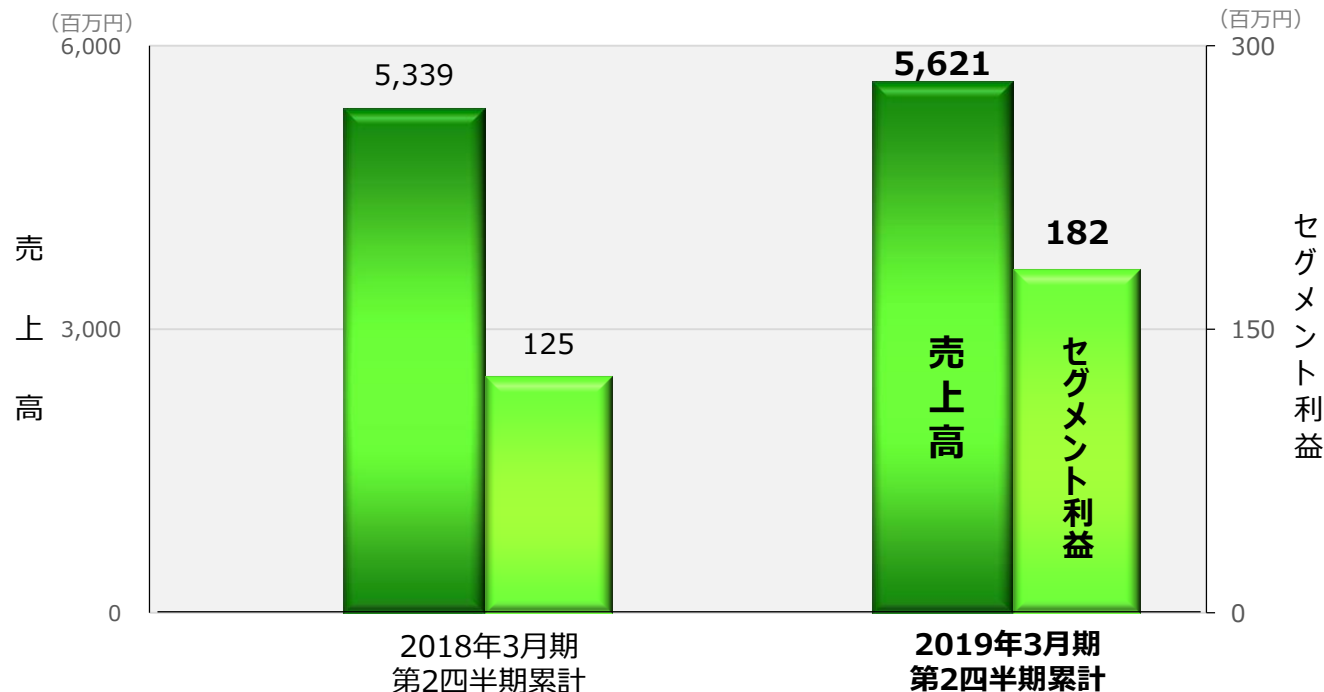
セグメント利益

182百万円

前年同期比 57百万円増
(+46.0%)

【事業母体】

パワーサプライテクノロジー
株式会社



3. 業績ハイライト (B/S)

(単位：百万円)	2018年3月期末 (2018.3.31)	2019年3月期 第2四半期末 (2018.9.30)	増減	主なポイント
流動資産	20,434	21,145	+711	現預金 △247 売掛 +459 在庫 +302
固定資産	6,061	7,042	+980	
有形固定資産	4,505	5,553	+1,048	
無形固定資産	503	521	+17	
投資その他の資産	1,053	968	△85	
資産合計	26,496	28,188	+1,692	
負債合計	20,345	22,556	+2,211	
流動負債	13,584	15,024	+1,440	【借入金残高】 +2,965
固定負債	6,761	7,531	+770	18/9末 13,601 18/3末 10,635
純資産合計	6,150	5,632	△518	
負債・純資産合計	26,496	28,188	+1,692	

4. 業績ハイライト (C/F)

(単位：百万円)		2018年3月期 第2四半期	2019年3月期 第2四半期	主なポイント
税金等調整前四半期純利益		781	211	
減価償却費		347	396	
運転資金の増減		△982	△ 1,266	売掛 △592 在庫 △307 買掛 △367
その他		△218	△ 378	
営業キャッシュ・フロー		△71	△ 1,037	
固定資産の取得・売却		△151	△ 1,546	取得支出 △1,549 売却収入 2
その他		654	△ 73	
投資キャッシュ・フロー		502	△ 1,619	
フリーキャッシュ・フロー		431	△ 2,657	
借入金の増減		364	2,949	
配当金支払 他		81	△ 428	配当金 △77 子会社株式追加取得△247
財務キャッシュ・フロー		446	2,521	
現金及び現金同等物四半期末残高		4,135	4,213	

5. 2019年3月期 業績予想 (2018年5月14日公表数値)

- 通期業績については、下期に外国人材を中心とした、受け入れ・管理業務受託等の拡大が見込まれていることや、PS事業における生産増加などが計画されており、先行き不透明感があるものの、現段階では、2018年5月14日に公表した業績予想を変更していない
- 今後の事業動向を踏まえ、業績予想を見直す必要が生じた場合は速やかに開示する

(単位：百万円)	2017年3月期 実績 (前々期)	2018年3月期 実績 (前期)	2019年3月期 予想 (今期)	前期比
売上高	54,581	54,172	61,000	+12.6%
営業利益	974	1,292	1,300	+0.6%
経常利益	561	1,506	1,550	+2.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	493	1,188	1,100	△7.5%

各セグメントの施策概況

～変化を好機に 攻めの施策で成長基盤を構築～

注力
ポイント
1

外国人材の受け入れ拡大を好機に

人材の受け入れ・定着・帰国後支援の仕組みを早期に仕上げ、好循環サイクルをつくり上げる

外国人材の受け入れ拡大

外国人技能実習生制度の法改正は
国内外に独自のインフラを有するnmsグループへの追い風

送り出し

7カ国・8つの政府系送り出し機関との戦略的提携でネットワーク構築

受け入れ

グループネットワークで受け入れ先開拓マッチングサポート展開

管理業務受託

実習生受け入れに必要な総務・人事・労務・福利厚生等に関する支援業務受託

教育・研修

入国前・入国後研修・教育システム提供で早期実習定着サポート国内研修施設も提供

帰国後支援

日本で習得した技術・技能が活かせる分野・企業への就職支援

2018年度上期事項策

新市場進出

- 18年10月 「nms Indonesia」を設立、事業開始
 - ・現地政府系送り出し機関「AP2LN」と提携し、送り出しスキームを構築
 - ・日本では、当社グループの外国人技能実習生向け研修事業会社「日本技能教育機構」(JATEO)や外部監理団体と連携し、実習生のスムーズな受け入れ・定着の基盤構築を推進

農業人材分野開拓

- 18年8月 「ひがし北海道地域創生協議会」参画
 - 農業分野への外国人技能実習生受け入れ拡大を図り、地域経済の活性化に貢献

教育システム拡充

- 18年5月 ベトナム人材向け日本語教育システム「3Lシステム」開発、運用開始へ
 - 異文化教育や製造・介護技術、製造現場関連教育等もプログラム化、他の国・地域に横展開

高度人材の多様化

- 18年4月～ エンジニア人材の在籍数拡大、外国人材の採用・派遣も拡大

注力
ポイント
2

- 「省力化装置事業」に本格参入、「人材サービス」との複合提案でお客様のコスト競争力に貢献
- 製造派遣・製造請負のノウハウを活かした事業の横展開

省力化装置事業へ参入

● 18年4月 キーエンス社高解像度カメラによる省力化装置の製造・販売に参入

- ・目視で行っていた工程の大幅な工数削減や、安定した品質管理の実現に貢献
- ・構内請負を進めながら、請負サービスのメニューとして装置化を行っていく海外ニーズにも対応
- ・すでにベトナムや中国では引き合いが増加しており、タイにおいても展開予定
- ・今後は、設計開発力強化や、サポートインフラ体制の拡充を図り、事業拡大をめざす

nmsの特長

「人材ソリューション」との複合提案でお客様のコスト競争力強化に貢献



人材サービス
生産ライン請負

+

生産ライン
診断・検証

+

省力化装置
設計・製作・導入

物流3PL受託 テクニカル流通加工 事業強化

● 18年5月 事業会社化、実行スピード加速

「nmsロジスティクス&
テクニカルソリューション」立ち上げ

- ・これまでの物流3PL受託実績とテクニカルサービスのノウハウ・実績を活かし、物流受託とテクニカル領域融合による、新たな柱を構築
- ・効率的な流通経路構築、革新的な物流戦略を支援、各種電子デバイス製品の物流における高度加工に対応
- ・物流業界の課題「機動的な人材確保とその定着」「全体業務効率化」についても、人材ビジネスとグループリソースをフル活用し、お客様のニーズに対応

基板修理 リペア事業の 新規展開

● 18年6月 「ファーウェイ認定修理店」 認定取得・全国展開



- ・事業ブランド「nms mobile」による認定修理店展開を推進（直近7店舗：北海道・仙台・渋谷・横浜・名古屋・広島・福岡）
- ・SIMフリー端末の急成長が見込まれる中、多様化するリペアカスタマーサービスニーズに対応
- ・部品管理から修理・アフターサービスや配送も含め、ロジスティクス事業との連携で、お客様のニーズに合ったトータルソリューションを展開

注力
ポイント

- 製造業におけるファブレス化加速のもと、拠点戦略の実行により、事業機会を拡大
- 設計開発力強化による差別化を図り、お客様を囲い込む

ベトナム工場 の新設

● 18年5月 「TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD.」設立

- ・TKRグループのベトナム事業拠点として2019年4月生産開始予定
- ・プレス工場と実装組立工場で構成、敷地は40,000㎡、現在プレス工場を建設しており予定どおり進行中
- ・マレーシア拠点との機能すみ分けを行い、機動的な生産体制を構築

完成予想図



工事は順調に進捗

Ba Thien II Industrial Park
主要顧客の近くに位置しており、人材確保や
物流の面からも利点が多い地域



中国拠点の 機能強化

● 18年9月 中国・東莞拠点にR&Dセンター設置、設計開発体制を強化

- ・TKRグループの中国生産拠点「中宝華南電子（東莞）有限公司」の設計開発体制を強化、商品設計・部品設計力を高め、事業の差別化を図る
- ・構内生産ラインの省力化にも対応し、他拠点への横展開を図りコスト競争力をあげる取り組みを推進

注力
ポイント

- 「既存事業の強化」と「伸長市場への参入」で成長事業へ転換
- 「エネルギーマネジメント」の切り口で、新分野・新市場への参入を図る

電池パックの 納入開始



PST リチウムイオン二次電池パック

- 18年10月 日産NV350キャンピングカー向けリチウムイオン電池パック納入開始
 - ・日産自動車「NV350キャラバン リチウムイオンバッテリー搭載グランピングカー」は、エアコンやキッチン家電、AV家電など、多様な機器類の使用が可能な、ワンランク上のキャンピングカー
 - ・パワーサプライテクノロジー社 (PST) 開発による電池パックは、さまざまな機器類の電力源となる、バッテリーシステムの充電・蓄電の適正な制御 (電池マネジメント) を行うもの
 - ・納入実績を基に、さまざまな産業機器への引き合いが増加しており、能力増強も視野に入れながら拡販を展開



NV350キャラバン



NV350キャラバン リチウムイオンバッテリー搭載 グランピングカー

(出典：日産自動車株式会社)

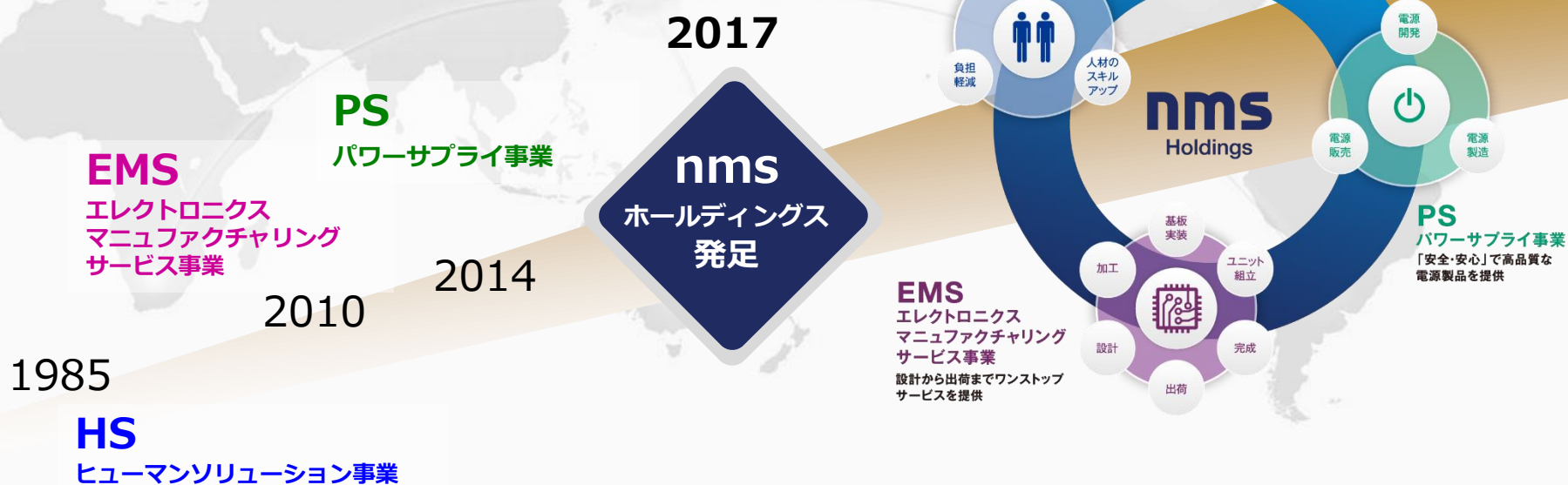
グループリソースを結集し、ニッポンのモノづくり品質を世界へ。

市場環境の変化を好機に。
多様な事業構造を強みにトータルソリューションを実現

お客様の多種多様なニーズに合わせ、
日本が誇る質の高いモノづくりをグローバルに提供

Next Stage >>

2018⇒2020



(参考資料)

「ニッポンのモノづくり品質を世界へ」。

これが私たちnmsグループのキーワードです。

3つの事業を組み合わせ、人材ソリューションから、効率生産を実現するEMS（製造受託）、さまざまな機器類の「安全・安心」を確保する電源製品の開発・製造・販売までお客様の多種多様なニーズにお応えします。

HS

ヒューマンソリューション事業

製品、製造プロセス、生産現場を
知り尽くした人材が
日本やアジア各地域で活躍

事業主体

日本マニュファクチャリングサービス

EMS

エレクトロニクス マニュファクチャリングサービス事業

お客様の競争力強化に貢献する
トータルソリューションを実現

事業主体

志摩電子工業
テークイアール

PS

パワーサプライ事業

電源専門メーカーの技術力で
ワンランク上のソリューションを提供

事業主体

パワーサプライテクノロジー



主な連結子会社 (() 内は各社決算期)	進出国・地域	主な事業内容
ヒューマンソリューション事業 (HS事業)		
<ul style="list-style-type: none"> ・日本マニュファクチャリングサービス株式会社 (3月) ・株式会社日本技能教育機構 (3月) ・nms ロジスティクス&テクニカルソリューション株式会社 (3月) ・北京中基衆合国際技術服務有限公司 (12月) ・NMS VIETNAM CO.,LTD. (12月) ・nms (Thailand) Co.,Ltd. (12月) 	日本 中国 ベトナム タイ	<ul style="list-style-type: none"> ・製造派遣／製造請負 ・エンジニア派遣・エンジニアリング受託 ・テクニカルサービス受託 (各種リペア・リワーク・解析等) ・物流3PL受託、テクニカル流通加工
エレクトロニクス・マニュファクチャリング・サービス (EMS事業)		
<ul style="list-style-type: none"> ・株式会社志摩電子工業 (12月) ・株式会社テーキアール (12月) 	日本 香港 (中国) マレーシア	<ul style="list-style-type: none"> ・電子機器製造受託サービス (基板実装、基板組立、簡易プレス、樹脂成型、組立 等) ・省力化機器製造・販売
パワーサプライ事業 (PS事業)		
<ul style="list-style-type: none"> ・パワーサプライテクノロジー株式会社 (12月) ・株式会社テーキアール (12月) 	日本 香港 (中国)	<ul style="list-style-type: none"> ・カスタム電源 (低圧電源、高圧電源) の開発・設計・製造・販売 ・マグネットロールの開発・設計・製造・販売 ・各種トランス (スイッチングトランス、高圧トランス) 開発・設計・製造・販売 ・電池マネジメントシステム関連製品の開発・設計・製造・販売

各事業の特長を融合させ、新たな需要を獲得

中国・香港

HS

EMS

PS



北京日華材創国際技術服務有限公司 (日華材創)
北京中基衆合国際技術服務有限公司 (中基衆合)
無錫分公司 深圳分公司 上海第1分公司
東莞分公司 惠州分公司 広州分公司
中宝華南電子 (東莞) 有限公司
中宝華南電子 (佛山) 有限公司
中宝華南電子 (佛山) 有限公司 深圳分公司
中宝華南電子 (佛山) 有限公司 蘇州分公司

タイ・カンボジア・ラオス

HS



nms(Thailand) Co.,Ltd.
Amata City Branch
Nava Nakorn Branch
Amata nakorn Branch



TKR HONG KONG LIMITED
Power Supply Technology CO.,LTD. HONG KONG Branch



NMS Lao Sole Co., LTD.

Representative office of nms (Thailand) Co.,Ltd.



フィリピン

EMS

TKR MANUFACTURING PHILIPPINES INC.



ベトナム

HS

EMS

NMS INTERNATIONAL RESOURCES CO.,LTD.
NMS VIETNAM CO., LTD.
TKR MANUFACTURING VIETNAM CO., LTD

マレーシア

EMS



SHIMA ELECTRONIC INDUSTRY(MALAYSIA)SDN.BHD.
TKR MANUFACTURING (MALAYSIA) SDN. BHD.
TKR PRECISION (MALAYSIA) SDN. BHD.

インドネシア

HS



PT. NMS CONSULTING INDONESIA



nms ホールディングス株式会社

<http://www.n-ms.co.jp/>

商号	nms ホールディングス株式会社
本社所在地	〒163-1445 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号 東京オペラシティタワー45階
代表者	代表取締役社長 小野 文明
資本金	5億69万円（2018年9月30日現在）
上場証券取引所	東京証券取引所（JASDAQ市場） 証券コード 2162
事業内容	ヒューマンソリューション（HS）事業 エレクトロニクスマニファクチャリングサービス（EMS）事業 パワーサプライ（PS）事業 におけるグループ事業統括および経営管理等
主な連結子会社	日本マニファクチャリングサービス株式会社 株式会社志摩電子工業 株式会社テーキアール パワーサプライテクノロジー株式会社

本資料のいかなる情報も、当社株式の購入や売却等を勧誘するものではありません。

本資料に記載された業績予想や将来の見通しに関する記述等は、資料作成時点での入手可能な情報に基づくものですが、実際の業績は、様々なリスクや不確定要素等により大きく異なる結果となる可能性があります。

当社は、本資料に記載された情報やデータ等につきまして、いかなる推奨・保証等するものではなく、発生したいかなる損害につきましても一切責任を負うものではありませんのでご了承ください。

本資料に関するお問い合わせ
nms ホールディングス株式会社
広報・IR部 Tel:03-5333-1737
E-mail: nms-ir@n-ms.co.jp

